



古府っ子

令和5年度 5月号
高岡市立古府小学校
学校だより
令和5年4月28日

子供目線で考える

校長 矢田 憲和

1年生が入学してから、約1か月。授業や給食、清掃等、小学校生活にも少しずつ慣れ、校内の様子にも興味津々です。先日、校内探検で校長室の見学に訪れました。担任の先生から言われたことをしっかりと守り、静かに、それでも気持ちを抑えきれない様子できょろきょろと周囲を見回して、10分間ほどでしょうか、部屋の中にあるものを見ていきました。さて、子供たちの目には何が映ったのでしょうか。担任の先生から、「みつけたよ しらせたいな かあど」を見せてもらいました。



子供たちは一人一人、心に残ったものをカードに丁寧に書き記していました。ウサギや竜の置物、カメのはく製、大きな壺、パソコン、応接セット、脚の長い！校長先生等、教室で思い出して描いたのにも関わらず、正確なことに驚きました。また、たくさんの物を記憶していることにも感心しました。思った以上に子供たちは、それぞれの目で、物事をよく見ていることに気付かされました。

物事をよく見るためには、「鳥の目」「虫の目」「魚の目」が重要だと言われます。鳥の目は、俯瞰して全体を見ること、虫の目は、近くから詳しく見ること、魚の目は、流れを見て、見通しをもつことです。これらに加えて、私たちには「子供の目」で見る必要だと改めて感じました。子供たちの目に映っているものは何なのか、どう見えているのか、どのように感じているのか、一人一人の子供目線を大切にしながら、授業をしたり、対話したりしながら、子供たちを育てていきたいと思えます。



古府っ子フォトギャラリー 日々の様子は古府小HPをご覧ください。 [古府小HP→](#)

		
4/7 27名の新1年生が入学し、全校202名となりました。	4/17 4年生が交通少年団に加入し、交通安全を約束しました。	4/21 委員長や学級代表に任命書を手渡しました。
		
4/23 伏木観光まつりで「二上山の賦」を5年生が演じました。	4/25 少年消防クラブ編成式を行い、地域の防火を誓いました。	4/27 地域の方に協力いただき、タケノコ掘りを楽しみました。